

令和2年度
神奈川県新規採用教員研修会

こどもから学び、成長する保育者を目指して

担当：鎌倉女子大学・短期大学部教授 小泉裕子

第一部

1

現場レポート紹介

・(5年目Rさん) 私の幼稚園は、3月から休業し、預かりの手伝いに入るためシフト勤務になりました。4月～5月までは完全休園となり、預かり保育のみ実施してました。その間はシフトで第一勤務でした。外出自粛期間中は、園から特に課題などは出なかったため、第一の出勤日はほぼ出勤して、保育研修等を持って過ごしていました。たまにzoomで職員会議や学年会議をすることもありました。

・(2年目Rさん) 4月の終わりから5月いっぱい休園をしていました。
 ・医療関係の仕事、公共交通機関の仕事、保育園など関係の仕事をしている専業主婦のみ預かりしていただいていたので毎日10名程度でした。
 ・職員は交代勤務で出勤がない日は在宅勤務となり、年間リフレッシュの休暇や自宅研修などをしていました。

・(3年目Rさん) 在宅勤務や祖父母がいる方は、なるべく家で保育して頂くよう協力。戸外で過ごす時間を増やし、室内では遊ばせていなかったボールやペラペラを解放して子どもが分けるよう遊びの輪を広げて保育。給食は毎食多量で食べてくれて、昼食や夕食の準備、掃除、洗濯など、保育者へ保育室に入ることを控えてもらうようお願いし、入る際はアルコール消毒の徹底(保育中靴は脱ぎ、公立と同等に休園に余裕はありましたが、とにかく密にならないよう対策していました。保育者の数に余裕がある時は普段よりなかなかにいい環境を整えた行事の準備を進めていました。

・(1年目Rさん) 私の園は、4.5月は休園でした。ただ、預かり保育は受けていたため、当番でお預かりしていた子どもを預かっていました。休園中は何かできることがないかと考え、動画配信を行っていました。内容は、朝、帰りの歌などを歌って貰ってもらう感じです。
 6月から保育が開始となり、1ヶ月間は、分級数で7月から通常保育になりました。玩具や、椅子などの消毒をしています。出来る限り、密にならないように学年ごとクラス単位での活動に変更になりました。

4

みんなで頑張りよう！With Corona

日本赤十字社「ウイルスの次にやってくるもの」 <https://youtu.be/rbNulkVDrN4>

7

本日の講座の内容

【第一部】コロナ禍と幼稚園教諭の役割 30分

1. コロナ禍の幼稚園(1学期の現場レポートより)
2. 正しく恐れるとは 日本赤十字社「ウイルスの次にやってくるもの」
3. コロナ禍の幼稚園教育 With Corona
4. コロナ禍の新人保育者は……
5. 子どもの成長が見えると、「保育者としての自分を実感できる！」

【第二部】子どもから学び成長する保育者を目指して

1. 環境が変化しても幼稚園教育で大切にすること(15分)
 ●我が国の幼稚園教育の現状から
2. 子どもから学ぶ姿勢を目指して(30分)
 ●倉橋様三の育ての心から
3. 子どもの学びたい気持ちを大切に保育者を目指す(30分)
 ●ニュージランドの保育者から

2

コロナ禍の幼稚園教育 With Corona

お食事時の飛沫防止パーティションの工夫

5

コロナ禍の幼稚園教育で新人保育者は……

新任保育者(1)と、他の幼稚園(2)年のキャリアがある中途採用者がいました。
 2人も、新しい環境で働き始めることに変わりはありませんが、やはりキャリアの経験が大きいと思います。
 新規採用の先生は一つ一つの活動や行事などについてのイメージが持てず、情報収集に時間がかかって不安が大きいと感じました。(個人情報は伏せておきます)
 また、言葉やクラスづくり、慣れなれぬ環境でも時間がかかっていると感じました。
 その他にも、ピアノや子ども達の声掛けの言葉遣いなども、苦労している部分が多いようです。
 中途採用の先生は、園によっての方が違う部分が多いようですが、スムーズに事が進む場面が多いです。また、前に経験していた園での取り組みを参考にできる部分もありました。

新任保育者の状況は?
 幼稚園の先生に成り立ての4月、5月
意欲 vs. 戸惑い
拡散

今年が、スロースタート、先輩も馴れないコロナ対策で戸惑い、従来の保育を基本とすることが出来ない毎日……
 今年の新人保育者は、例年とは異なるスタートー！

8

コロナ禍の幼稚園教育

- 例年なら4月スタート
(非常事態宣言、外出自粛)
- (休園状態の幼稚園では)
- 子ども達や保護者の様子も様々
- (新入園児は)
- (在園児は)
- 保育が本格的にスタートしても
- (感染症対策と保育の板挟み)

3

6

コロナ禍の幼稚園教育 新人保育者は……

馴れない保育に苦心しています……

【保育者Rさん】
 4.5月は、週2、3日の出勤シフトでした。家庭保育をお願いしていたので、養育する子ども数もとても少なく、最初の1ヶ月は子どもとの関係もできずに、もう1人のクラス担任の先生にやらせてもらうばかりで何もできていない自分がすごく悔しかったです。でも先輩先生が「S先生は始まったばかりだから焦らずに、できないことがあったらまって！」と奮って応援してくれてから気持ちが楽になりました！今は少しずつですが子どもとの関係も作れてきたと感じることが増えました。働き始めてから3ヶ月ですが、子どもの言葉の数が増えたり、働き始めていた子が泣かなくなったりお母さんと別れられたりなどの成長している場面を見るとすごく嬉しい気持ちになります！

本当にあった事例 4歳児担任YAさん

先輩には恵まれているが
 なぜ私のクラスは、人数ばかり……
 先輩のクラスは、まとまっている
 私のクラスの子ども(異母)に迷惑をかけているのではないかと心配ばかりになります！

9

失敗ばかりだが・・・

①風邪薬の飲ませ間違い

②登園渋りの男の子Bの対応に苦慮

対応

- ・園長に報告
- ・医者に連絡
- ・保護者に報告

対応

- ・Bへの対応に夢中で、クラスがまとまらない
- ・先輩保育者が補助に入る

子どもたちはいつも私のことを一人前の教師として見てくれたと実感！

(学期末)子ども同士のケンカを仲裁しようとしたとき、ある女の子Aがその仲裁に入りました。

[Aちゃん、すごいね。貴方のおかげで二人は仲直りできたね]そうしたら……「だって、先生がいつもやっていること」をただただだよ」という嬉しい言葉が返ってきました。

10

第一部 終了前に

- ・コロナ禍、皆さんは保育を実践しながら、子ども達と接して感動したり、嬉しかったこと、子どもの行動に驚かされたこと、気づいたこと等、「子どもの魅力」に沢山出会うことができましたか？
- ・これから10分間、6人グループに分かれてディスカッションしましょう。
- ・次の点について、貴方のエピソードを発表してください。
- ・貴方が実感した「子どもと接して、感動したこと、嬉しかったこと、驚いたこと、気づいたこと」に関して、エピソードを一つ発表し、子どもの魅力を互いにシェアしましょう。
- ・10分後、数人の方にエピソードを発表していただきます。(小泉指名)

13

1. 子どもを個の人格として尊重

子どもの人格を尊重するとは？

●倉橋惣三先生の最初の著書『幼稚園雑草』より (T15)

「私にとって、幼児教育の師は沢山ある。しかし、最も大切な、最も真実なことを教えてくれたのは、此の多くの幼児たちであった。」

●我々は幼児を尊重する人でなければならぬ

「我々は幼児を愛する人でなければならぬ。我々は幼児のためを思う人でなければならぬ。しかもそれだけでは足りない。我々は幼児を重んずる人でなければならぬ。幼児を尊重することには、いろいろの意味をきむ。第一、幼児を一個の人格として尊重することである。」

●子どもから学べよ

「幼児教育に多くの基礎知識を必要とすることは、いうまでもない。しかし、子どもの本性を知ると言うよりも、子どもを如何に取り扱うべきかの方法を知ると言うも、本や講義からのみ学び得ることはない。もとはといえば、言うまでもなく子どもから学ぶことである。」

16

子どもの成長が見えると 保育者としての自分を実感できる

- ・自己主張が強い子どもが、仲間の言葉に耳を傾け始めた場面を見たとき
- ・「幼稚園に来るのがいやだ」と泣いて登園していた子どもが、笑顔で楽しそうに登園してきたとき
- ・水遊びが嫌いで幼稚園に行きたくないという子どもが、水遊びになれて笑顔で遊んでいる場面を確認したとき

私は、子ども達の先生なんだ！

保育者のアイデンティティを獲得

11

子どもから学び成長する保育者になるための Basic disposition

(1) 子どもを個の人格として、尊重しよう

(2) 子どもの心情に寄り添い、受け止め、共感しよう

(3) 子どもは一人一人有能である。湧き上がる思い(意欲、主体性)を尊重し、遊びを価値ある学びにしていこう

(4) 子どもの(心情や意欲、主体性から生れる)遊びを通じた価値ある学びを可視化し、伝えよう

子どもをリスペクトし、遊びの価値(学び)を可視化しながら、共に成長する保育者へ

14

2. 子どもの心情に寄り添い、受け止め共感しよう

- ・太郎がどんなに怒っているか、どれほど悔しがっているか、その心もちを察すること無しに、本当の教育が出来るようか。
- ・太郎の喧嘩を正しく裁くだけでは裁判官である。
- ・子どもの心もちに切実に触れられないものは、児童のための教育者でありえない。
- ・子どもにとって、心もちの判ってくれない先生の傍に居るほど味気ないことはあるまい。
- ・心理の理解と心もちの感触とを混同して、児童の心が判っているような顔をしている人の傍に於いて

子どもの心情(心もち)への寄り添いがなぜ大切なのか

17

不安の中にも 喜びがあふれる瞬間を探そう

自分の子どもを見つめる眼差し (幼児理解)を確認しよう

12

Basic Disposition

子どもから学ぶ姿勢

子どもの学びたい気持ちを大切にす姿勢

- 倉橋惣三先生の「幼稚園雑草」 「育ての心」から
- ニュージーランドの幼児理解 (Learning Stories)

15

倉橋惣三の『廊下で』

泣いている子がある。涙は拭いてやる。泣いてはいけないという。なぜ泣くのと尋ねる。弱虫ねえという。すいぶんいろいろなことはいいも、してやりもするが、ただ一つしてやらないことがある。泣かずにいられない心もちへの共感である。

お世話になる先生、お手数をかける先生。それは有難い先生である。しかし、有難い先生よりも、もっと欲しいのはうれしい先生である。そのうれしい先生はその時々々の心もちに共感してくれる先生である。泣いている子を取り囲んで、子たちが立っている。何もしない。何も言わない。

ただささも悲しそう顔をして、友だちの泣いている顔を見ている。なかに何だかわけも分からず、自分も泣きそうになっている子さえいる。

有り難い先生

うれしい先生

18

平成5年以降 幼稚園教諭の保育の基本姿勢へ 保育者のカウンセリングマインド

【カウンセリングの基本的な姿勢を教育に生かす】

相手の心の世界を受け止め、相手の立場に立って考えていこうとする姿勢

- ①両者の間に温かい信頼関係を築く
- ②相手に肯定的な関心を向ける、受容的な態度を持つ
- ③相手の心の動きを受け止める感受性を持つ

①「傾聴」 良い聴き手になる。

②「受容」 受け入れ

③「自己理解、自己決定を促す」

④「シェアリング」分ち合い・共有・共感

カウンセリング
スキル

19

書くことに集中することではない、 活用は様々あってよい

1. その場で行う援助 (Informal assessment) → 瞬時のアセスメント
 - ・「子どもの良いね！」を発見し、寄り添い、応援し、遊びの発展を見守り、時には環境の手助けをする。
2. 振り返りを行う援助 (Formal assessment) → 発達を可視化するアセスメント
 - ・子どもの遊びに内在する発達の要素を、客観的に、冷静に取り上げて整理することで、子どもの発達が具体的に可視化できる。そのアセスメントは、次の子どもへの援助や環境の再構成の資料となる。
3. 書いたものを、印刷しポートフォリオにする、オンラインで発信する、プランニングウォールにする
 - ・子ども自身で、遊びの価値を自覚する。遊びの満足感、達成感。さらには新しい目標も生れるかもしれない。

子どもが主体的、意欲的に行っていることを、見逃さない。それに遊びの価値をつけさせてあげるのが、保育者の仕事である。

一人一人の子どもの「良いね！
すこいね！」を掲げよう！

子どもから多くを学ぶ
喜びに繋がる

22

子どもに寄り添い、こどものやりたい意欲を掲げよう。
そんな保育者の傍にいる子どもは、遊びを広げ、学びを深める。
子ども達の遊びには、価値のあることを、保育者自身の言葉で伝えれば、子ども達の世界は輝いてくる！

子どもから学び、
成長する保育者
を目指す貴方へ

25

もう一つのBasic OECDを始め、世界の幼児教育が、ここ20年来の NZの乳幼児教育の改革に注目しています。

ぜひ、Learning Storiesに注目するの啦

- 保育者は、子どもは一人一人有能であると信じているから。
- そのためには、湧き上がる子どもの思い(意欲、主体性)を尊重しているから。
- さらに、遊びを価値ある学びにしたいために、一人一人の遊びのプロセス(結果だけではなく)に注目し、アセスメントして描いているから。
- 保育者のアセスメントは、「あなたの遊びが価値のあることなのだよ」というメッセージを、子ども自身に、そして保護者や取り巻く人達全てに可視化できるように描いているから。

・ニューゼランドの教育者名(保育者研修国家プロジェクトリーダー)
Wendy Lee先生(2016 鎌倉女子大学講演)
マーガレット・カーと共にNZ全土の保育施設でLSの意義を指導、実践に貢献している専門家。
・「保育は世界を変える」
どのような言葉で子どもの姿を伝えるかによって、子どもを取り巻く世界は変わる。
Change the words, Change the world!

20

Learening Storiesにはいろいろな書き方がある 発達をアセスメントすれば、自分に合った書き方で良い！

■ 新人保育者は、たった一枚の写真で、アセスメントし、発達を可視化しよう。

ママのカレーを作ったけど、センセイ食べてもいいよ。

(1. 関心を持っていること)
ママのためにカレーを作りたいという思いが、今日の遊びの中心です。
(2. 3. 4. 二人で楽しく行う為、工夫、挑戦)
カレーの準備を二人で相談した様子、Aちゃんは、お水をとり、H君はさらさら砂の在りかを深掘り、二人で5分ほど掘り進みお水と砂の盛り合わせカレー、隣には、別の場所から砂を持ってきます。砂と水の混ぜ合わせのバリエーションを試している様子。最後の仕上げは、なんと、プラスチックカップの投入。砂と水だけでは味気ないカレーと考えたので、開けば、レモンと、スパゲティとリンゴ……。経験の中で美味しい物を想起している様子。「黄色は酸の味！」と、経験の中で美味しい食べ物を思い出せるよ。

(5. 貢献する、役に立っていること)
A子ちゃんは、バケツのカレーをテーブルに運ぼうとしたのですが、「重い！」と叫び、手を離してしまいます。すかさずH君が、代わりにバケツを握ると、それは嬉しいそんなA子ちゃんの笑顔。
二人のカレー作りは、センセイに食べてもらうことで、新しい遊びにも発展したようすです。笑顔満面、遊びの充実を享受していました。

Learning Storiesを書く視点(例)

1. 関心を持つ
2. 関心する
3. 困難なこと、矢田車の無いことに挑戦する
4. 他者とコミュニケーションを図る
5. 自ら責任を負う、貢献する

23

終わりにYALE!!

- 悩みは、まだ気軽に相談ができる保育士がいなくて。(笑)歳の近い先生も数名いますが、その先生は幼児クラスの先生であまり話す機会がありません。コロナで外食も控えるムードがあるので余計(笑)
- 子どもたちの良いところに目を向けることが大切だなあと感じます。子どもたちの行動のために息をつきたくなくなるような気持ちにならなすこともありますが、叱ったり注意をしたりでマイナスを与えたらその分マイナスが返ってくるなど日々感じています。

●毎日本大であるというが本音ですが、その分とても充実した日々を送っています。

●朝、出勤すると遠くから満面の笑みで自分の胸に飛び込んでくる子ども達や、「家でも先生の話ばかりで、うちの先生のこと大好きなんです！」と書ってきた保育者の方々に毎日支えられています。

●自分の実力不足に投げ出したくなることもありますが、通かく尊敬できる先生方と共につつまで学んであった保育者として働いていることがとても幸せに感じます。

●特に、自分のクラスの子もたちが本当に可愛くて仕方がなく、これからの成長が楽しみです。2020年7月26日(新任T先生)

新人保育者の本音トーク！
みんな、子どもからパワーをもらって前に進もうとしています！
まだまだ、大変な状況が続きますが、皆さん健康に留意して、現場での活躍を期待しています！

26

子どもの有能感を、 その場で感動するだけでよいのか！

- ・子どもが活き活きと遊んでいる様子から、様々な発達の要素が見えてきます。
- ・「園庭でのまよごと遊び、長時間集中して遊ぶ姿や、繰り広げられる対話の面白さに感動しました！」
- ・「友達と激論しながら、遊びの基地づくりの設計をしている様子に触れ、子どもの才能の素晴らしさにおどろいた！」
- ・「さかあがり失敗しても、何日も繰り返し挑戦する姿勢、なかなか出来ないけれどその姿に感動した。」

毎日起こっている子どもの発達！
「遊び」には価値がある！を伝えたい

発達の見える化
工夫して、伝えれば、
子どもや子どもを取り
巻く世界が変わる

21

保育者の専門性に基づいた「子どもから学ぶ」姿勢は、 子どもの遊びに、発達上の価値を見つける！



24

本日の研修は、これで終了です。
質問はありますか？
園に戻って、本日の研修内容について、是非報告してください。

本日の講師 小泉裕子
鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部教員

27